

# 地震に対する心がまえ

9月1日は  
防災の日

九月一日は「防災の日」です。天災は忘れたところにやってくる——いつ襲ってくるかわからない地震に備えて、ふだんから心の準備をするとともに、ご家庭での「地震対策」を怠ることなく、被害を最小限にいくとめるようみんなでごええましよう。



起震車による地震の体験風景

## 地震

場所別

避難の心得

ぐらつ、ときたら...

### 木造家屋の中でしたら

屋内で安全なのは柱の多い場所  
で、トイレの中や風呂場。  
揺れが激しくても、すぐは外に出ないで丈夫な机やテーブルの下に身をかくして様子を見ること。カワラや看板、ガラスなどが落ちてきて思わぬケガをします。逃げ出すときは、きちんと火の始末をしましょう。

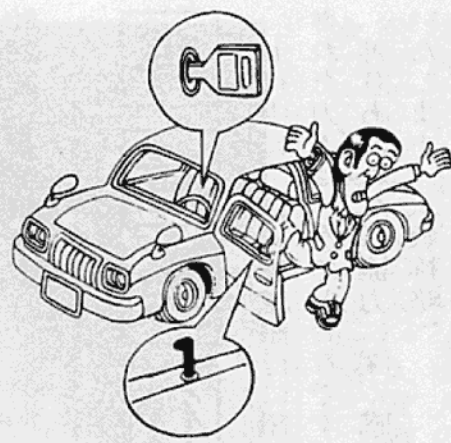
### 街の中を通行中とき

看板や窓ガラスの破片、外装用のタイル、ネオンサイン(塔)などの落下物から身を守るため、コート、買い物袋などで頭を守りながら近くの丈夫な建物や空き地に避難しましょう。

### 車を運転していたら

道路は波打ち、パンクしたようにハンドルをとられます。ハンドルを両手でしっかり押え、周囲に注意して、ゆっくりスピードを落としながら道路の左側に停車、エンジンを切ります。カーラジオで

地震情報を聞き、適切な行動をと  
りましょう。車を置いて避難する  
ときは、キーをしたまま、ドアは  
ロックしないでおくこと。



### 電車やバスの中でしたら

列車や電車は、強い地震を感じると、一時停止または徐行運転する仕組みになっています。バスも、運転士の判断で停車します。つり革や柱、いすなどにしっかりつかまり、落ちついて乗務員の指示に従いましょう。あわてて、非常コックなどを開けて外に飛び出すのは危険です。

ひかれる危険があります。乗務員の指示を待ちましょう。



### 鉄筋建築物(ビル)の中でしたら

団地やマンション、オフィスビル、ホテルなどは構造的に一応安心とみていいでしょう。ただ、ドアが開かなくなる場合があるので、直ちにドアを開けましょう。

外に出るときは階段を使い、エレベーターは避けましょう。

### 映画館、劇場、デパートなどでしたら

これらの建物は、耐震構造でできていますから、倒れる危険は少ないとみられます。デパートなどの場合、陶器やガラス製品などの売り場は破片に注意しましょう。衣料品などの繊維製品の階は、その点安心ですが、ひとたび火災が発生しますと有毒ガスの発生源になります。ふだんから、これら行きつけの場所については、出入り口はもちろん、非常口をよく確認しておきましょう。いちばん怖いのは、群衆がパニック状態に陥ることです。